

混沌とした中から

混沌とした世界にどっぷり浸かって (2)

研究室で8080のアセンブラでプログラムを作り始めた頃、TK80などのシングルボードのコンピュータが売られていました。シングルボードという一枚のボードにCPUとメモリなどが載っていて、入力としては16進のキーと7セグメント(数度を表示できるもの)のLEDが8個乗っているもので、プログラムを作って、自分でアSEMBル(アSEMBラ言語で作ったプログラムを自分で16進の機械語に変換すること)したものを16進のキーで入力してプログラムを動かすもので、プログラムを保存することもできないのでいちいち入れなければならないものでした。メモリも標準で512Byteですから多少増設してもたいしたことはできなかったのですが、それでもよく売れたようです。という私も、最初にコンピュータを買ったのはこの頃です。その頃のものにはTK80以外にCPUが6800のLkit-8というのがありました、そういえば、TK80にしてもLkit-8にしても組み立てキットとして販売されたもので、一部は自分で作らなければならなかったのです。で、いろいろ考えてLkit-8を買いに行こうと秋葉原へいったのです。どうやってお金を準備できたか忘れましたが(何せLkit-8は85,000円したものですから)。いろいろ回ったのですが、これがどこにもなくて、それであきらめたわけではなかったのですが、H68-TRというのを買ってしまいました。確かにCPUは同じ6800ですし、入力と表示ができるコンソールがついていて、なかなか思い切って買いにくくもできないと思ったのか、一種衝動買い状態だったようです。ここで、昔のことを思い出しているうちに気づいたのですが、コンピュータにはまりだしたのはどう考えても大学4年のときではなくて、大学3年の時のようです。よって、H68-TRの購入もそのときで、余計によく金があったものだと思ってしまう。しかも、1kBしかなかったメモリを1024bit(キロでもなければメガでもなく、おまけにByteでもない)のメモリを8個買ってきてボードの空きスペースに半田付けしてメモリ増設したり、他のキットに比べて表示桁数が多かったのに、TVに出力したいからといってH68TVという増設ボードを購入したわけですから。しかし、卒論でやったのが8080となると、同じアSEMBラでも6800を勉強することもなく、H68-TRはカセットのインターフェースがついていたのでゲームのテープを買ってきてちょっと遊んだだけだったようです。周りでは4年になった頃に出たTK-80を中心としてカセットインターフェースのついたCOMPO-BSを買ってもらったやつもいました。そんなもの買える訳もなく(といってもH68-TRにTVインターフェース、専用キーボードを合わせると大して変わらない金額になってしまったりするのですが)、その頃住んでいた近くの二子多摩川にできたTandyラジオシャックに、TRS-80というパソコンを見に行ったりしたものでした。世界的に大きなラジオシャックの店だったのですが、あまりにもこじんまりしていた様な気がします。

その頃の情報源は、もちろん今と同じような専門月刊誌です。「ASCII」が創刊されていましたが、他にも「I/O」や「パソコン」などがあって、毎月というわけには行きませんが買っていたものです。そういえばその頃の外部記憶といえばほとんどがカセットテープでした。その後まず販売されたゲームやワープロなどのソフトもまずはカセットで供給されたものです。H68-TRには標準でオーディオのデータ入出力のためのインターフェースがついていましたが、ASCIIにはソノシート(ソノシートも死語ですね、昔は子供の雑誌にもついていたのですが)にBASICの入ったものが付録でついていた頃もあります。そして、卒論で使っていたコンピュータのプログラムは紙テープで毎回入れていたような気がします。(次回へ続く)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 10月25日号

特集 今こそ音楽配信

→AppleのiPodが火をつけた音楽配信。有料コンテンツ配信が成立することが実証されているが、日本では取り残されている。一応ネットワーク配信はあるが米国に比べ楽曲数では一桁少なく、1曲150円以上する。しかし、ようやくパソコンや携帯電話などの配信で米国並みのサービスが始まろうとしている。音楽配信はいろいろなアイデアが出てきている。

○日経パソコン 10月25日号

特集 DVD心得帳

→DVD-Rが普及している。使い方にはいろいろな心得がある。たとえば、格安でテイクは選ぶな、フルにディスク容量を使うな、紫外線と指紋は大敵など。便利なDVDも注意して使いたい。

○日経バイト 11月号

特集 ホームネットワーク再始動

→ホームネットワークが普及しようとしている。中心となるのはビデオデータを蓄えるネットワークサーバ。そこに登場したのがDLNAというコンテンツ共有のための接続仕様。このオープンな規格でネット家電がいよいよ花開く。

○NETWORK WORLD 12月号

特集 Webサイト自己防衛マニュアル

→インターネット上で情報供給するWebサイト。簡単に作ることができるが、重要なデータを載せた場合は、情報漏えいが隣にいることに注意しなければならない。システムに脆弱性はないのか。新たな脆弱性が発見された場合にはすぐに対応する。設定は細かくチェックし、プログラムのセキュリティに十分注意する。パラメータを改ざんしてデータを書き込んだり、ナリスましなど、自分のところとは関係ないという時代ではすでにない。